

里庄町立 図書館ニュース



「ネコと魚たちの兄弟」

里庄東小学校

こでら ゆうと

3年 小寺 悠斗

「こびとの町と家」

里庄東小学校

たかの かえで

3年 高野 楓



第335号

令和3年4月

お知らせ

館内利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、ほぼ通常どおり開館しています。

来館者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止の趣旨をご理解いただき、次の点にご協力ください。

- ・マスクを着用する。
- ・せきや発熱等の風邪症状のある方は、利用を控える。
- ・入館時、自動体温測定器で体温測定をする。
- ・長時間の滞在は、控える。
- ・入館・退館の際には、手を消毒する。

「ふくちゃん 読書手帳」の利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ？」「読んだ本だった！」「読んだ本が思い出せない！」などの悩みがなくなり便利です。

読書手帳は、図書館カウンターにあります。

なお、50冊、100冊読んだ人には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。

200冊、300冊と、どんどん読んでください。プレゼントをさしあげます。

「こどものへや」改装

「こどものへや」を改装し、幼児への読み聞かせに適した部屋にしました。そして、名前も「おはなしのへや」に変更しました。併せて、授乳コーナーも整備し、授乳やおむつ替えもしやすくなりました。ぜひ、ご利用ください。

インターネットで里庄町立図書館のホームページを開いてみよう。

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか？自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうか分かります。その中でも特にお勧めするのが、朗読CDです。プロによる文学作品の朗読は一味違います。効果音もあり、臨場感があります。すでに活字で読んだ方も、初めての方も、目の不自由な方も、読むのが苦手な方も、ぜひ一度、耳で聞く読書を楽しんでみてください。

「佐藤清明」特設サイトを開設

佐藤清明（1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄出身の博物学者です。また、佐藤清明の業績を研究するための団体「佐藤清明資料保存会」の活動の様子などをのせています。知られざる知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、ぜひご覧ください。

お 願 い

図書館の本は町民みんなの財産です。

大切に扱ってください。

無断で持ち出さないでください。

返却期限を守ってください。

万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

図書館利用バリアフリー運動

里庄町立図書館では、すべての人に気持ちよく、安心して利用していただくために、施設や設備にさまざまな心配りがなされています。玄関のスロープ、エレベーター、車椅子用のトイレ、駐車スペース、幼児用のトイレ、ベビーベッド、低い書架等です。この他に、車椅子や、老眼鏡も用意しています。気軽に図書館員に申しつけてください。

バリアフリーの精神を生かすためには、まわりの人の心づかいが大切になります。玄関前のレンガ敷きの所や、スロープの近くに自転車やバイクを置かないようにしてください。自動車は決められた枠の中に駐車してください。

よろしく願いいたします。

行事予定・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎4月 特設展示（桜・春の本展）

- 1日（木）
2日（金） エルマーの工房 13：30～
3日（土）
4日（日）
5日（月）
6日（火） **休館日**
7日（水） 押し花「ふしぎな花クラブ」 12：00～16：00
8日（木）
9日（金） エルマーの工房 13：30～
10日（土） おはなしトトロ 14：00～
11日（日） ちぎり絵教室「紙遊会」 9：00～16：00
組み木の広場「木楽工房」 10：00～16：00
12日（月）
13日（火） **休館日**
14日（水）
15日（木）
16日（金） エルマーの工房 13：30～
17日（土）
18日（日） **休館日**
19日（月）
20日（火） **休館日**
21日（水）
22日（木）
23日（金） こども読書週間 ～5／12
エルマーの工房 13：30～
24日（土） おはなしトトロ 14：00～
25日（日）
26日（月）
27日（火）
28日（水）
29日（木）
30日（金） **月末整理休館日**

◎5月 特設展示（ミステリーベスト展・たばこと健康展）

- 1日（土）

- 2日(日)
- 3日(月)
- 4日(火) **休館日**
- 5日(水) 押し花「ふしぎな花クラブ」 12:00～16:00
- 6日(木)
- 7日(金) エルマーの工房 13:30～
- 8日(土) おはなしトトロ 14:00～
- 9日(日) ちぎり絵教室「紙遊会」 9:00～16:00
 組み木の広場「木楽工房」 10:00～16:00
- 10日(月)
- 11日(火) **休館日**
- 12日(水)
- 13日(木)
- 14日(金) エルマーの工房 13:30～
- 15日(土)
- 16日(日) **休館日**
- 17日(月)
- 18日(火) **休館日**
- 19日(水) ブックスタート
- 20日(木)
- 21日(金) エルマーの工房 13:30～
- 22日(土) おはなしトトロ 14:00～
- 23日(日)
- 24日(月)
- 25日(火) **休館日**
- 26日(水)
- 27日(木)
- 28日(金) エルマーの工房 13:30～
- 29日(土)
- 30日(日)
- 31日(月) **月末整理休館日**

展示・催し案内・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎特設コーナー 4月

場所 カウンター前の特設架
内容 桜・春の本展

こども読書週間行事

◎令和2年度年間貸出トップ10の展示（一般書・児童書）

期日 4月1日（木）～5月12日（水）

場所 1階 ロビー

◎イースターエッグハント

期日 4月23日（金）～5月12日（水）

内容 館内に設置したイースターエッグを探し、隠された文字をつなぎ合わせて言葉を完成させよう。完成したものをカウンターに持って行くとプレゼントがあります。参加したい方は、カウンターまでおいでください。

◎特設コーナー 5月

場所 カウンター前の特設架

内容 ミステリーベスト展・たばこと健康展

図書館ボランティア

（どなたでも参加できます。お手伝い下さい。）

◎おはなしボランティア「おはなしトロ」

・日時 第2・4 土曜日 14：00～

・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・ストーリーテリング・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅配便への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

・日時 毎週 金曜日（祝日を除く）13：30～

・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中

◎組木の広場「木楽工房」

・日時 毎月第2日曜日 10：00～16：00

・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

・日時 毎月第2日曜日 9：00～16：00

・内容 ちぎり絵作製 *材料費実費負担

◎押し花「ふしぎな花クラブ」

・日時 毎月第1水曜日 12：00～16：00

・内容 おしぼな作品作製 *材料費実費負担

◎里庄歴史勉強会

- ・日時 毎月第4日曜日 13:30～15:30
- ・内容 近隣市町村の歴史研究 *資料制作費負担

◎清明研究会

- 日時 毎月第3土曜日 13:00～ 2時間程度
- 会場 里庄図書館 2階視聴覚室 その他
- 内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内

2月中旬から3月上旬に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 社会・時事

▽処女の道程 (酒井 順子：新潮社)

平安の貞操事情、与謝野晶子 vs 平塚らいてう、「ツッパリ」の純情と「アンアン」の多情…。時代と共に移り変わる「処女の価値」を追い、日本女性の地位、性意識のみならず社会の変遷をあぶり出す。

◎ 音楽

▽緊急事態宣言の夜に (さだ まさし：幻冬舎)

ミュージシャンとしての思い、医療機関や福祉機関などへの様々な支援の様子…。コロナ禍に「大切な人をなくしたくないんだ」と歌ったミュージシャンさだまさしが綴る、思いと行動の記録。

◎ 古典文学・文学史・作家論

▽老親友のナイショ文 (瀬戸内 寂聴、横尾 忠則：朝日新聞出版)

数え 100 歳にしてペンを走らせる瀬戸内寂聴と、80 代半ばにしてアートの海を泳ぐ横尾忠則。“老親友”である2人が、破天荒な人生の悲喜こもごもを伝えあう往復書簡。

◎ 日本の小説

▽転職の魔王様 (額賀 滯：PHP 研究所)

大卒で入社した大手広告代理店でパワハラに遭い、3年たたずに退職してしまった未谷千晴。叔母が経営する人材紹介会社を活用しながら転職活動をする、「転職の魔王様」という異名を持つ凄腕キャリアアドバイザーに出会い…。

▽紅蓮の雪 (遠田 潤子：集英社)

双子の姉の死の真相を探るため、大衆演劇の世界に身を投じた伊吹。そこで知ったのは、一座に秘められた禁断の真実だった。血脈に刻まれた因果の物語。

▽老婦人マリアンヌ鈴木の部屋 (荻野 アンナ：朝日新聞出版)

青い部屋で老婦人はベッドに横たわるが、ときにフランス小話も語る。仲間に囲まれた老婦人は、シニア婚活パーティーで意外な若き日の過去に出会うが…。どこか陽気な連作短編集。

▽母影 (尾崎 世界観：新潮社)

小学校でも友だちをつくれず、居場所のない少女は、母親の勤めるマッサージ店の片隅で息を潜めている。お客さんを直しているお母さんは日に日に苦しそうになっていく…。第164回芥川賞候補作。

▽小隊（砂川 文次：文藝春秋）

北海道にロシア軍が上陸し、第二次大戦後初の地上戦を経験することになった日本。自衛隊の3尉・安達は自らの小隊を率い、ロシア軍と対峙し…。元自衛官の著者が日本人の知らない戦場を克明に描く。

▽ほたるいしまジカルランド（寺地 はるな：ポプラ社）

大阪の北部にある「ほたるいしまジカルランド」では、名物社長を筆頭にたくさんの人々が働いている。お客様に笑顔になってもらうため、日々奮闘する従業員。そんなある日、社長が入院したという知らせが入り…。お仕事小説。

▽天使と悪魔のシネマ（小野寺 史宜：ポプラ社）

結婚を控えた地下鉄の運転士、酔って駅のホームに立つ DV 男…。運命の現場にやってくるのは天使か、悪魔か？ 容赦ない運命とぬくもりが同居する物語。

▽イノセント・ツーリング（湊 ナオ：日経 BP 日本経済新聞出版本部）

コロナ禍で何もかも変わった。変わらざるをえなかった。リセットするにも、調子を取り戻すにも、若くして命を落とした親友との約束を、元気の在庫がなくなった今こそ果たしたい…。4泊5日、自転車旅の物語。

▽それでも、陽は昇る（真山 仁：祥伝社）

住宅、五輪、ボランティア、産業誘致など、被災地「復興」の掛け声の下で生じる新たな課題。俺は何をするべきか。神戸と東北、ふたつの被災地をつなぐ震災3部作、完結編。

▽心臓に針を（佐伯 琴子：日経 BP 日本経済新聞出版本部）

美容外科医の貴夜には、封印した過去がある。暗闇から這い上がろうと愛を葬るとき、彼女の中で善と悪が反転し…。世間からこぼれ落ちていかざるを得ない人たちの生を、誰もが陥るかもしれない悪を通して描く。

▽和菓子迷宮をぐるぐると（太田 忠司：ポプラ社）

超理系脳の大学生・涼太が出会ったのは、あまりに美しい和菓子。その美味しさにも魅せられた彼は、大学院に進まずに和菓子職人になることを決意する。製菓専門学校に入学して和菓子作りにのめりこむが、その道は奥深く…。

▽灰の劇場（恩田 陸：河出書房新社）

「飛び降り2女性の身元わかる」という三面記事。私は確かにそのふたりを知っていた。もっとも、私はそのふたりの顔も名前も知らない…。恩田陸の新境地となる、“事実に基づく物語”。

▽テスカトリポカ（佐藤 究：KADOKAWA）

メキシコの麻薬密売人バルミロと臓器売買コーディネーターの末永は、新たな闇ビジネスを実現させるため日本へ向かう。少年コシモは知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれ…。

▽気がつけば地獄（岡部 えつ：KADOKAWA）

都内近郊に暮らすパート勤めの主婦・紗衣。あることがきっかけで、身元を隠した

夫の愛人・夏希と SNS 上で交流を深めていくが…。予測不可能、衝撃展開のサスペンス。

▽ジャックポット (筒井 康隆：新潮社)

嗤え、歌え、踊れ、狂え。今日も世界中が「大当り(ジャックポット)」！コロナ、戦争、文学、ジャズ、映画、芝居、青春、古い、嫌民主主義、そして息子の死。かつてなく「筒井康隆の成り立ち方」を明かした私小説。

▽鳴かずにカッコウ (手嶋 龍一：小学館)

ヒトなし、カネなし、武器もなし！ 最小で弱小の情報機関・公安調査庁に迷いこんだマンガ大好きオタク青年が、国際諜報戦争で大金星!? 脱力系インテリジェンス小説。

▽帝国の弔砲 (佐々木 譲：文藝春秋)

日本人の両親のもとロシアで生まれ育った登志矢は、ロシア帝国軍に徴兵されて大戦に臨み、やがて革命の嵐に巻き込まれていく。その先に待ち構えていた運命とは…。新感覚冒険小説。

▽代理母、はじめました (垣谷 美雨：中央公論新社)

独身のまま子供が欲しい、もう不妊治療をやめたい…。貧困と虐待から脱するため、代理母ビジネスを始めた少女ユキ。葛藤と不合理だらけの“命”の現場で、医師の芽衣子やゲイのミチオと共に、女たちの自由を求めて立ち上がる！

▽168時間の奇跡 (新堂 冬樹：中央公論新社)

沢口涼也は運営する保護犬施設で心身傷ついた犬たちを癒やし、里親が現れるのを待つ毎日。犬の幸せを願う涼也は里親希望者の見極めに慎重で…。犬と人間との共生が抱える闇と光を描く。

▽君と、君がいる彼方 (末浦 広海：中央公論新社)

相原は一級建築士で、妻と中学1年生の娘、小学2年生の息子の4人家族。ある日、息子が車にはねられ意識不明の重体に陥るが、時を同じくして相原の不倫が発覚し、家族は瓦解寸前に。そんなとき、相原家の前に現れたのは…。

▽俺と師匠とブルーボーイとストリッパー (桜木 紫乃：KADOKAWA)

北国のキャバレーで働きながら一人暮らしをする20歳の章介は、新しいショーの出演者3人と同居することになる。だが店に現れたのは、華やかな売り文句とはほど遠いどん底タレントたちで…。

▽血も涙もある (山田 詠美：新潮社)

有名料理研究家の妻、年下の夫、そして妻の助手兼夫の恋人。はじめは、微妙なバランスを保っていた3人の関係は、ユーモラスに残酷に、その味わいを変えていく。

▽ウィーン近郊 (黒川 創：新潮社)

四半世紀を暮らしたウィーンで自死を選んだ兄。報せを受け、渡墮した妹は、生きあぐねた兄の生の軌跡を辿る。孤独を抱えながらも懸命に生きたひとつの生涯を鎮魂を込めて描き出す中篇小説。

▽草原のサーカス (彩瀬 まる：新潮社)

私たちは、どこで間違っただろう。優秀で才能ある職業人として名声を得ながら、道を踏み外していく姉妹。転落の末に、2人の目に映る世界とは。

▽麦本三歩の好きなもの 第2集 (住野 よる：幻冬舎)

後輩、お隣さん、合コン相手…。三歩に訪れるいろんな出会い。図書館勤務の20代女子、麦本三歩のなにげない日常を描いた心温まる連作短篇集。

▽リリアン (岸 政彦：新潮社)

街外れで暮らすジャズベーシストの男と、バーで知り合った女。会話のセッションが、大阪の片隅で生きる2人の人生を淡く照らす。表題作ほか全編を収録した、哀感溢れる都市小説集。

▽櫓太鼓がきこえる (鈴木 ふみ：集英社)

弱小相撲部屋に呼出見習いとして入門した17歳の篤。実家を出たいがため、志もないままこの道を選んだが、力士たちの挑戦や葛藤に立ち会ううち、「呼出」という仕事の喜びに目覚めていき…。

▽恋に焦がれたブルー (宇山 佳佑：集英社)

ただありふれた恋を求めた高校生の歩橙(あゆと)と青緒(あお)を試練が襲う。彼を愛おしいと思う気持ち、青緒の身体に耐えがたい痛みを与える不思議な病を発症してしまい…。切なさに心がふるえる恋の物語。

▽再建の神様 (江上 剛：PHP 研究所)

“再建の神様” 早川種三に憧れる銀行マンは、絶望の末に経営コンサルタントと出会う。彼とともに、倒産しかけた会津の温泉宿を再建することになったのだが…。

▽ムーンライト・イン (中島 京子：KADOKAWA)

職を失い、自転車旅行をしていた栗田拓海は、年季の入った一軒の建物を訪れた。そこには3人の女性がそれぞれ事情を抱えて過ごしていた。拓海は足の怪我が治るまで、そこにとどまることに…。

▽激震 (西村 健：講談社)

1995年。年明け早々に阪神地方を襲った大地震に衝撃を受け、被災地に駆けつけた月刊誌の記者・古毛は、長田地区で焼け跡に佇む若い女と遭遇する。戦場の少年兵そっくりの眼をした彼女ははたして何者なのか？

▽その扉をたたく音 (瀬尾 まいこ：集英社)

ミュージシャンへの夢を捨てきれず怠惰な日々を送る宮路は、演奏に訪れた老人ホームで、神がかったサックスの音を耳にする。吹いていたのは介護士・渡部だった。ホームに通い始めた宮路は…。

▽山の人魚と虚ろの王 (山尾 悠子：国書刊行会)

風変わりな若い妻を迎えた男。秋の新婚の旅は、<夜の宮殿>その他の街を経て、機械の山へ。圧倒的なイメージに満ちみちた驚異と蠱惑の<旅>のものがたり。

◎ 歴史・時代小説

▽ぜにざむらい (吉川 永青：朝日新聞出版)

織田信長の越前攻略により無一文の孤児となった源八は、蒲生氏郷に仕官することに成功する。だが、金銭に執着する源八に同僚たちの風当たりは強く。1万石の城代にまで成り上がった“ぜにざむらい” 岡左内の半生を描く。

▽源氏五十五帖 (夏山 かほる：日経 BP 日本経済新聞出版本部)

「源氏物語」は未完だった。栄華をきわめた藤原道長が血眼になって探す“最後の

一帖”とは。そして、道長から搜索を命じられた女たちが、ようよう辿り着いた処で目にしたものとは。王朝文学ミステリー。

▽利生の人 (天津 佳之：日経 BP 日本経済新聞出版本部)

鎌倉幕府を倒し、人が生きる甲斐のある世を理想に掲げた後醍醐天皇の志に賭けた楠木正成、正成に惚れ込んだ足利尊氏。腐敗した政治を変えようと心をひとつにする2人の運命は、陰謀に翻弄され、引き裂かれていく。

▽走れ、若き五右衛門 (小嵐 九八郎：講談社)

15歳のとき人攫いに遭い、盗賊として育てられた石川五右衛門。太閤秀吉を向こうに回し、「義賊」として民衆に支持された五右衛門が、盗みを極め、組織の頂点に登りつめる姿を描くピカレスクロマン。

▽雨と短銃 (伊吹 亜門：東京創元社)

慶応元年。薩摩藩と長州藩が協約を結ばんとしていた。しかし、薩摩藩士が稻荷神社の境内で長州藩士を斬り付け、逃げ場のない鳥居道から姿を眩ませた。坂本龍馬の依頼を受けて、若き尾張藩士・鹿野師光は捜査に乗り出し…。

▽田中家の三十二万石 (岩井 三四二：光文社)

近江国三川村の貧しい百姓から成り上がり、大名となった田中吉政。石田三成を捕縛し、関ヶ原の合戦を決着させた英傑の人生を描いた歴史長編小説。

▽いわいごと (畠中 恵：文藝春秋)

江戸町名主の跡取り息子・高橋麻之助のもとに縁談が3つも！だが、どの縁談も妙なところがあるようで…。お気楽息子の麻之助と悪友2人は今日も大忙し！「まんまこと」シリーズ第8弾。

▽湯どうぶ牡丹雪 (山本 一力：KADOKAWA)

飛鳥山に湯治に訪れていた長兵衛。夜更けに部屋でくつろいでいると、そこに自身番が踏み込んできて…。知恵と人情で謎を解く、村田屋長兵衛シリーズ第2弾。

▽卑弥呼とよばれた少女 (森山 光太郎：朝日新聞出版)

卑弥呼となることを決意した、王家の血を継ぐ15歳の少女・翡翠命。「唯一を望む者(御真木)」と「唯一を望まねばならぬ者(翡翠命)」、そして「唯一である者(曹叡)」の欲望と信念が交差し、新たな時代が幕を開け…。

◎ 推理・ミステリー

▽書店員と二つの罪 (碧野 圭：PHP 研究所)

書店員の椎野正和は、ある朝届いた積荷の中に、少年犯罪者の告白本があるのを知って驚く。女子中学生が惨殺されたその事件は、正和の同級生が起こしたものだ。その本を読んだ正和は、ある違和感を覚えるのだが…。

▽わんだフル・デイズ (横関 大：幻冬舎)

お利口に職務を全うする盲導犬たちの姿を通して見えてくる、人間たちの悩み、嘘、そして罪。「ルパンの娘」の著者が贈るハートウォーミングミステリー。

▽終わりの歌が聴こえる (本城 雅人：幻冬舎)

人気絶頂のさなか、ホテルの部屋で死体となって発見された天才ギタリスト。時を経てその被疑者に浮上したのは、同じバンドの元メンバーだった。美しい旋律に掻き消された慟哭の真相とは…？

▽おれたちの歌をうたえ (呉 勝浩：文藝春秋)

友が遺した五行の詩。連絡を待ちわびていた元刑事は、それが自分達への伝言だと気づく。40年前のあの日の真実を求めて、執念の捜査が始まった。友情を諦めなかった男たちの、悔恨と希望の物語。

▽ヴィンテージガール (川瀬 七緒：講談社)

東京の高円寺南商店街で仕立て屋を営む桐ヶ谷京介。服のシワを見ればその人の受けた暴力や病気などがわかる京介は、偶然目にしたテレビの公開捜査番組の遺留品のワンピースが気に掛かり…。

▽あなたも名探偵 (市川 憂人, 米澤 穂信, 東川 篤哉, 麻耶 雄嵩, 法月 綸太郎, 白井 智之：東京創元社)

犯人は誰か? 豪華作家陣が贈る、謎を解く愉しさに満ちた犯人当て小説アンソロジー。市川憂人「赤鉛筆は要らない」、白井智之「尻の青い死体」など全6編を収録。

▽ヴィクトリアン・ホテル (下村 敦史：実業之日本社)

伝統ある超高級ホテル「ヴィクトリアン・ホテル」は明日、その歴史に幕を下ろす。女優、スリ、作家、老夫婦。それぞれの運命の行方は…。予測不能の一夜を描く。

▽幕間のモノローグ (長岡 弘樹：PHP 研究所)

ドラマの撮影中に起こる様々な事件やトラブルを鮮やかに解決するベテラン俳優の南雲。そこにはある秘密が隠されていた…。芸能界に生きるものたちの業を描いた連作短編ミステリー。

▽馬疫 (茜 灯里：光文社)

2024年、欧州での新型コロナ感染拡大を受け、夏季五輪は再び東京で開催されることに。だが五輪提供馬の審査会で、複数の候補馬が馬インフルエンザの症状を示す。ウイルスの正体は「狂騒型」の新型馬インフルエンザで…。

▽或るギリシア棺の謎 (柄刀 一：光文社)

心臓移植を経験している南美希風と、執刀医の娘エリザベスのもとに、篤志家・安堂朱海の訃報が届く。弔意のために安堂家を訪れた彼女たちは、奇妙な因習、複雑な人間関係、そして未解決のままの悲劇の存在を知り…。

▽悪の芽 (貫井 徳郎：KADOKAWA)

銀行員の安達は、世間を震撼させた事件の犯人が同級生だったことに気づき絶句する。小学生の頃、彼がいじめに遭うきっかけを作ってしまった。その後、道を踏み外した彼は殺人犯となり…。

▽オムニバス (誉田 哲也：光文社)

警視庁刑事部捜査1課殺人犯捜査第11係姫川班。刑事と人殺しに休日はない。激務の中、事件に挑み続ける姫川玲子の集中力と行動が、被疑者を特定し…。姫川班の刑事たちが総登場! 全7編を収録。

◎ SF

▽階層樹海 (椎名 誠：文藝春秋)

あらゆる生物が樹海でしか生きられなくなった、とある未来の終末惑星。巨大生物にさらわれた少年スオウの目の前に、航空機に乗った謎の男が現れて…。

▽小説火の鳥 大地編上 (桜庭 一樹：朝日新聞出版)

▽小説火の鳥 大地編下 (桜庭 一樹：朝日新聞出版)

日中戦争期の大陸を舞台に描いた、歴史 SF 巨編。漫画家・手塚治虫が残した「火の鳥」続編の構想原稿に、作家・桜庭一樹が新しい命を吹き込む。

◎ エッセイ

▽これで暮らす (群 ようこ：KADOKAWA)

若い人に比べて残りの時間は少ないのに、時間がかかることが楽しくなってきた。御飯を鍋で炊く、靴下を編む、万年筆で文字を書くなど、毎日を豊かにするヒントがいっぱい。

▽ワンさぶ子の怠惰な冒険 (宮下 奈都：光文社)

3人の子供たちは、思春期真っ只中。それぞれが自分の道を歩き始めていき…。「神さまたちの遊ぶ庭」から6年。宮下家5人と1匹の3年間の日々を描いた家族エッセイ。

▽しつこくわるい食べもの (千早 茜：ホーム社)

闇カツ、パフェのエロさ、台所の妖怪、緊急事態宣言下のお取り寄せ…。偏屈でめんどくさい食いしん坊作家が日常や思い出の食をつづるエッセイ、第2弾。

◎ 海外紀行・旅行記

▽わたしが行ったさびしい町 (松浦 寿輝：新潮社)

最高の旅とはさびしい旅にほかなるまい。ペスカラ、名瀬、台南、コネマラ、タクナ、中軽井沢…。過去に通った町のあれこれから人生の記憶に思いを馳せる、活字で旅する極上の20篇。

◎ 外国の小説

▽ロサリンドの庭 (エルサ・ベスコフ：あすなる書房)

からだが弱く、病気がちの少年エリック。ある日、ベッドで横になりながら壁紙を眺めていると、小さなドアができ、そこからふしぎな女の子ロサリンドがやってきて…。北欧で読みつがれてきたエルサ・ベスコフの知られざる名作。

こどもの本

◎ 戦争・平和

▽平和の女神さまへ 平和ってなんですか? (小手鞠 るい：講談社)

兵士となるための登録をすませて、私は今朝、女性兵士となった。ハノイの10代の少女をはじめ、世界中の様々な時代の子供たちが戦争について綴った作文、詩、手紙をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◎ 環境問題・資源・エネルギー

▽未来を変えるレストラン (小林 深雪：講談社)

サラのおばあちゃんは、賞味期限の早いものや見た目のいびつな野菜を購入する。その暮らしを見て、食べ物についての意識が変わったサラは、ある夢を持ち…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

▽ぼくらの青 (佐藤 まどか：講談社)

ある日、剛志はフリーダイバーの兄・正孝に誘われて海岸のゴミ拾いをした。ゴミ

の多さに驚いた剛志は、あらためて海の抱える問題に気づきはじめ…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

▽ツリーハウスの風（楠木 誠一郎：講談社）

ツリーハウスの中で、台風をやり過ごすマモルとキコ。暴風雨に耐える体験を通じて、2人は地球が置かれている危機的状況や、自分たちが出来ること、すべきことを学び…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◎ 日本の作品

▽さくら村は大きわぎ（朽木 祥：小学館）

さくらの木がたくさん植わっている、さくら村。それぞれのさくらの木には名前がついています。そんなさくら村では、とんでもないことや、笑っちゃうことなど、毎日いろんなことが起きて…。幸せいっぱい日常物語。

◎ ファンタジー・SF

▽モンスター・ホテルでおばけやしき（柏葉 幸子：小峰書店）

ちっとも怖くないと評判の遊園地のおばけ屋敷。「本物がいかに怖いか思い知らせてやる」と、幽霊や透明人間、ドラキュラ男爵たちが<おばけは怖いぞプロジェクト>を立ち上げ、おばけ屋敷を手伝うことに…。

◎ 日本の絵本

▽おおきなキャンドル馬車にのせ（たむら しげる：偕成社）

こびとのニコさんとロボットのダダくんは、おおきなキャンドルをつくりました。キャンドルを馬車にのせて、ふたりは出発します。馬のひづめがパカポコ、パカポコ音を立てます。ふたりはどこへ行くのでしょうか…？

▽はからはじまるカルシウムのはなし（ダイスケ・ホンゴリアン：福音館書店）

抜けた歯を土に埋めた男の子。土のなかの歯のかげらからカルシウムが飛び出すと、コマツナの根っこに吸い込まれ、葉に到着。それから、カタツムリの殻、ブナの葉、シカの角に移っていき…。カルシウムという元素の循環を描く。

▽まだまだまだまだ（五味 太郎：偕成社）

「よーい、どん！」かけっこがはじまりました。みんな無事にゴール、と思ったら「ぼくはまだまだおわりません！」と、ひとりが飛び出しました！町の中やビルの間、畑、森、かけっこはまだまだずっと続き…。

▽うみがめのおじいさん（いとう ひろし：講談社）

うみがめのおじいさんが波にゆられています。おじいさんは、広い海のすみからすみまで旅をしてきました。たくさんの思い出が波のあいだからあらわれてきて…。「おさるのまいにち」の名脇役、うみがめのおじいさんのおはなし。

▽おにぎり!（村上 康成：小峰書店）

「はるかぜにふかれてたのしいピクニック」「リュックにはできたておにぎり!いいにおい」「まちにまったおにぎりやっとなべられる」みんなで食べるおにぎりのおいしさを、色彩豊かな絵と五七五の俳句でリズムカルに伝える。

▽ちかてつサブちゃん（みやにし たつや：ほるぷ出版）

ちかてつのサブちゃんは、見たことのない地上のことが気になって仕方ありません。先輩のちかてつたちが、地上のことを教えてくれるのですが、サブちゃんの地上へ

の妄想はどんどんおかしなことになっていって…。

▽はらすきー (あきやま ただし：講談社)

のらいぬ仲間たちのもとへやってきたハスキー犬の「はらすきー」。ある日、秘密の場所の食べ物が、ごっそりなくなってしまい…。のらいぬたちが「ただしい」とはどんなことなのかを教えます。

▽はりねずみのおいしゃさんとおばけのこ (ふくざわ ゆみこ：世界文化ワンダークリエイト)

はりねずみのお医者さんが出会った、恥ずかしがりやの“おばけのこ”は、木でおもちゃをつくるのが得意。先生はそのおもちゃを、患者さんにあわせて、お薬といっしょに渡すようになり…。

▽なんでもない (鈴木 のりたけ：アリス館)

カラスが黒くてつまらなそう？ のろまなカメはいやだって？ 一日中、太陽の届かない土の中にいるモグラはかわいそう？ そんなの、なんでもない。実はね…。どうぶつたちの自慢をユーモラスに描く。

▽ぼかぼかぐ〜ん (よしむら めぐ：小学館)

今日は、ぼかぼかして、いい気持ち。アコちゃんが、ぐ〜んと伸びをすると…あれ？ ちょっと大きくなった？ クマちゃんもトラトラちゃんも、みんないっしょに、ぼかぼか、ぐ〜ん！初めての読み聞かせにぴったりの絵本。

▽ありがとう (えがしら みちこ：講談社)

谷川俊太郎の名詩「ありがとう」を、えがしらみちこが“卒業の日に「私」が思うこと”というイメージを膨らませて描いた絵本。あたらしい人生を歩みだす人に贈りたい一冊。

◎ 外国の絵本

▽もしかして… (クリス・ホートン：BL 出版)

3匹の子ザルがお留守番。マンゴーのところはトラがいっぱいいるので絶対に行かないようにと言われました。「えーっと」「もしかして」「もしかして、マンゴーをちらっと見るだけなら」 3匹の子ザルはどうしたのでしょうか。

▽ひびけわたしのうたごえ (ジュリー・モースタッド：福音館書店)

冬の朝早く、スクールバスに乗るため、長い道のりをひとりで歩いていく6歳の少女。道すがら、歌うことで不安を吹き飛ばし…。どんな暗い状況でも前を向いて進んでいく応援歌のような、カナダの絵本。

▽わたしはあなたをしんじてる (リサ・パップ：WAVE 出版)

マディと犬のスターが、セラピー・ドッグになる試験を受けるため、老人ホームに行きました。すると、みんなが楽しそうにしている中、ひとりだけ笑わないおじいさんがいて…。

利用案内

開館時間

(4月1日～11月末まで)

▽ 午前9時～午後7時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

(12月1日～3月末まで)

▽ 午前10時～午後6時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

月末整理日(月末が火曜日等で休館の場合は、その前日を休館)

▽年末年始(12月27日～1月4日)

▽蔵書点検日(3月6日～12日)・年度末整理(3月31日)



里庄町立図書館キャラクター 里庄町キャラクター
ふくちゃん & 里ちゃん

里庄町立図書館ニュース
No. 335 2021. 4. 1
岡山県漢口郡里庄町里見2621
電話 0865-64-6016